

2026  
Jun.  
VOL.13



# NEWS LETTER



## 第54回通常総代会開催 ～議案ダイジェスト～

6月15日(月)に船橋市民創造館(きららホール)にて、第54回通常総代会が開催されます。総代会は各地域から選出された総代が事務局からの活動報告や活動方針などの提案を受けて検討し決定していく場です。生協はみんなの話し合いから方針が決定されていきます。その場が総代会であり、総代は各地域の組合員の代表となります。総代会は生協の最高意思決定機関となります。今回の総代会では第1号議案 2025年度事業報告、第2号議案 2026年度事業計画、第3号議案 組合員除名の3つの議案を提案させていただきます。

### ■ 2025年度 事業報告

#### ● 事業の結果

供給高は20億4,974万円で前年比100.5%。物価上昇により単価は上がったものの、購入点数は減少し、利用継続の課題が浮き彫りとなりました。今年度は1,217名の新しい仲間が増えました。



#### ● 組合員活動

商品の良さや安全性を伝える試食会や生産者交流会を開催し、製造のこだわりや生産者の思いを直接聞く機会をつくりました。お米の上映会や講演会では、米不足や農業の現状を学び、食の未来について考える場となりました。生活文化向上の学習会では、終活セミナー、子育て講座、食品添加物・遺伝子組換えなどをテーマにした講座を実施。体験型イベントでは、田植え・稲刈り・収穫体験、納豆づくり味噌づくりなどを開催し、子どもたちの学びにもつながりました。平和活動では、原爆パネル展や広島スタディーツアーを実施し、被ばく80年の節目に平和の大切さを再確認。平和川柳には127作品が寄せられ、家族で平和を考える機会となりました。

### ■ 2026年度 事業計画

#### ● 活動方針

「人の命とくらしを守る」という理念のもと、食を通して生産から消費までのすべての段階で安全が確保され、誰もが安心して食べ、健康に生き続けられる社会をつくることをビジョンとして「安全を優先すること」「食の継続性を支えあいの仕組みを作ること」「情報を正しく伝え、健康への役割を果たすこと」「平和な生活をつくること」を進めていきます。

#### ● 事業目標

供給目標は20億8,000万円。職員教育を強化し、商品理解を深めた上でおすすめ活動を推進します。新規加入目標は1,392名。紹介・イベント・WEB広告を組み合わせ、問い合わせ対応の改善や広告効果の分析を進めます。

#### ● 組合員活動

テーマは「nanohana生協をもっと身近に楽しく」。学習会、交流会産地訪問を通じて商品の理解を深め、仲間づくりを進めます。10月には幕張メッセで「nanohanaメッセ2026」を開催し、生産者と組合員の交流をさらに広げます。

#### ● 配達手数料の変更について

物件費やシステム開発費、事業全体に関わる経費が増加しています。組合員へのサービス向上と事業継続のため、すべての組合員に手数料をご負担いただく形での見直しを検討しています。現在の宅配料とカタログ料を廃止し、『nanohana手数料』として一本化して、個人宅配・共同購入の双方に手数料が発生する形となります。それに伴い今後はご利用額に応じて手数料が変動する仕組みを予定しています。また、ネット注文の方向けにカタログ配布を停止する仕組みも検討しています。

#### ● 配送コースの効率化

現在、配達地域ごとに様々な曜日で訪問しているエリアがあります。これを曜日ごとに決まった方面に配達することで配送コースの効率化につながります。組合員には配達曜日や配達時間の変更でご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。今年度中に着手できるよう進めていきます。



### 活動予定

- 6月15日(月) 第54回通常総代会
- 7月9日(木) 学習会「香書」
- 7月23日(木) ピースアクション「予科練平和記念館」
- 7月31日(金) 夏休み親子企画「クアントバスタのお箸作り」

詳細はホームページへ



発行  
nanohana生活協同組合  
編集  
nanohana編集委員会  
千葉県稲毛区長沼原町678-2  
TEL 043(216)7087  
FAX 043(215)0510  
info@nanohana-coop.or.jp

## リレートーク④丸和食品(株) ～生協と生産者のいっしょの食べものづくり～

代表取締役社長 稲葉 隆

なのはな生協の組合員の皆様には、日頃より我々丸和食品と二人三脚で食べものづくりを行っていたいておりますこと、感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

丸和食品の大豆加工食品は市販品とは違い、国産材料を徹底的に使用し、添加物や遺伝子組み換え材料を一切使用しないことで、食の安心と安全を確保して生産された食べものです。この品質条件を守るため、原材料の確保から製造時の使用、製造方法において、我々は長年培った管理体制と製造方法で日々誠実に食べ物づくりを行っております。

今日、製造現場が直面している課題は他業界の製造業も同様だと思いますが、製造作業員の人手不足、原材料や資材の高騰、工場稼働エネルギーの高騰など、食べ物づくりに対しての逆風です。人手不足に関しては、大小さまざまな製造設備機器の導入等により製造効率化を常に試みることで、そして高騰する製造費用に対しては、製造における原材料や資材、労力や時間、エネルギーなどの無駄やロスを減らすことなど、まだ企業がチャレンジし努力できることがあります。ただし、そうした企業および製造現場の取り組みも、我々が生産する食べものを共同購入してくださる組合員の皆様がいるからこそ、取り組めるチャレンジです。組合員の皆様が共同購入をしてくださることで、生産者は安心安全なものづくりはもちろん、その時々での課題にチャレンジし生産させていただくという関係性です。この関係性こそが生協と生産者の両者が一緒に食べものを作るといことなのだと思えます。

なのはな生協の組合員の皆様には、今後も我々丸和食品と一緒に食べ物づくりを行っていただけますようお願い申し上げます。



## なのはな deランチ ～作ってみよう！房総太巻き寿司～



今回の企画のチラシで「太巻き」の3文字が目に入った瞬間、海苔の香りや玉子やキュウリといった具材の旨みが口の中にじゅわっと広がった。お祝い事や家族・友人が集まるとよく食べていた太巻き。その太巻きを自分の手で作るのだと思うと気持ちが高ぶり、配達担当さんの後押しもあって、すぐに申し込んだ。

前回参加した料理講習の時と同じく、あっという間の楽しい2時間だった。印象に残ったことは、生協のスタッフの暖かく根気強いサポート。まず、会場に着くと明るく元気な声で迎えてくれ、心の緊張が和らいだ。スタッフの指示に従って準備の手伝いに加わると、参加者20人分の食器や食材をてきぱき準備している姿に意気込みを感じた。次に、講師の分かりやすい説明。参加者にも配布されたレシピをもとに、商品説明をしながら、テンポ良くポイントを押さえながら手順を教えてくれた。失敗例の紹介は大変役立った。なぜなら房総太巻きは一般的な太巻きとは異なり、薄焼き玉子で2本巻き、仕上げに海苔を巻いて切った時に、バラの花が現れるという想像以上に高度な技術を必要とする作業だと気付いたからである。

最後に、この企画の素晴らしさは単に料理講習会だけではなく、食の安全や環境問題など生きていく上で大切なことを取り上げ、私たちが明るく健康で過ごせる社会を築き上げていこうとする意識や意欲を持つことができるように取組まれていることである。世界の平和という大きな目標を掲げて努力されている生協の皆さんに心から感謝すると同時に、組合員の一人として応援していきたいと思った。(参加者 N.K)



## コラム ～創立時を彷彿とするような社会状況～

1973年の第4次中東戦争で原油価格が急騰し、電力・ガソリンなどのエネルギー費が高騰。一部企業は便乗値上げや売り惜しみをを行い、狂乱物価と呼ばれる異常な物価高が発生しました。

報道による不安から、トイレトペーパーや洗剤、灯油などの買いだめが広がりました。

こうした不信と不安の中、「必要なものを適正価格で安定入手したい」と住民が協力し、共同購入や生協づくりが全国で進展しました。組合員が出資し、話し合いで商品や価格を決め、オイルショックの物不足と高騰に対抗しました。なのはな生協の前身・市民クラブ生協は1974年に市川で誕生し52年が経ちました。私は1983年に入協し、43年間活動を支えてきたことに深い思いがあります。

当時学んだのは4大公害病（水俣病・新潟水俣病・イタイイタイ病・四日市ぜんそく）です。企業の利潤追求による海・河川・大気汚染が原因で、汚染された魚や土壌、空気が人体に蓄積して発病しました。カネミ油症や森永ヒ素ミルク事件も食品公害で、合成洗剤による湖沼汚染から石けん運動も広がりました。

現在も、イスラエル・米国によるイランへの武力行使で石油供給が滞り、石油由来製品が不足・高騰し、生協誕生期を思わせる状況です。政府は原油確保や備蓄放出を掲げますが、現実とのズレを感じます。戦争は遠い国の問題ではなく、私たちの暮らしに直結しています。世界は暴力ではなく法による平和を望んでおり、一刻も早い戦争終結が必要です。

(事業部 小林)

## ピースアクション ～原爆パネル展～

5月5日(火)なのはな生協本部にて開催しました。このパネル展は戦争の悲惨さや命の尊さを次世代に語り継ぐという想いを込めて行っております。パネル展は今後行う予定ですので是非足を運んでみてください。共に平和な未来を目指しましょう。

